

令和6年度 上田市立丸子北小学校 グランドデザイン

校長の教育理念

自立して社会に貢献できる人に育てるために、1人で生き抜くたくましい精神と仲間と協働して課題を解決していく力を育む。

学校教育目標

仲良く助け合う子
進んで学び、自分の
考えが言える子
最後までやり抜く子

学校の礎となるもの

○上田市教育支援プラン

燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり

- 1 学力の定着・向上
- 2 未来を切り拓く力の育成
- 3 豊かな心と健やかな身体の育成
- 4 すべての子どもの学びを支援
- 5 地域との連携・協働による安心安全で信頼される学校づくり

○夢と驚き

子どもには大きな夢を与え、新しく知ることの驚きに勉学の楽しさを感じとらせよう。

・汎汎楊舟載沈載浮

(はんはんたるようしゅう沈む物も載せ浮物も載せ)

どの子も見捨てない、温かい学校づくり

めざす教師象

- ・子どもと共に動く教師
- ・子どもと向き合う教師
- ・教育のプロをめざし、日々学び続ける教師

家庭・地域との連携

「見守る」「励ます」
「みんなで育てる」

めざす子どもの姿

- ・自分やまわりの人を大切に
する子ども
- ・しっかり考え、自分から動
ける子ども
- ・力を合わせて、粘り強く追
究する子ども

主体的な探究

本年度の重点目標

「つなげよう」

明るいいあいさつと
認め合う学級づくり

「かんがえよう」

学び合い学習と
学力向上

「みつめよう」

心みがき清掃の
充実

- ◎自分から進んで挨拶をする児童の育成に取り組みます。
- ◎交流活動や話し合い活動を充実させ、お互いを認め合う学級作りをめざします。

- ◎学び合い学習や生活科・総合的な学習を通して「主体的、対話的、探究的な学び」に取り組みます。
- ◎全国学力調査やNRT調査等で全国平均並みの学力が定着しているよう、日々の学習を充実させます。

- ◎清掃の時間を、「自分自身と向き合い、自分を成長させる時間」ととらえ、「心みがき清掃（自問清掃）」に取り組みます。

令和6年度の具体的な取り組み

- ①1単位時間40分で学力保障するために、導入の工夫、考えたり意見交換したりする時間の確保、児童自身による振り返りを大切にします。
- ②学び合いの学習について研修を深め、「主体的、対話的で深い学び」の向上をめざし、授業改善に取り組みます。
- ③生活科や総合的な学習を中心に、体験的な活動やゲストティーチャー・地域資源を活用した活動を仕組み、探究的な学習を進めます。
- ④主体的に取り組む「自学タイム」「プロジェクトタイム」を確保し、基礎力及び応用力・探究力の向上をめざします。
- ⑤「丸北小スタンダード」で学習規律を統一し、「つむぐ」等の活用で家庭との連携を図ります。
- ⑥6年目となる心みがき清掃では「ふりかえり」を大切に、「がまん玉」「しんせつ玉」「みつけ玉」を磨くとともに、ものごとを深く見つめる心を育てます。
- ⑦場に応じた挨拶が自分からできる児童を育てます。
- ⑧Q-U検査や相談の時間を利用して学級の人間関係の把握につとめ、児童の困り感に寄り添います。
- ⑨日常の全ての活動や「なかよし月間」などの取り組みを通して人権感覚の育成に努め、特別に配慮を要する児童についての研修を深めます。

グランドデザインを視点に
児童アンケート・保護者・CS 運営委員会 等による
評価の実施

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	重点目標	「主体的な探究」	生活科・総合的な学習・交流活動を通して探究的な学習を進めてきたか
		「つなげよう」 ◎明るいあいさつと 認め合う学級づくり	- 場に応じた挨拶が自分からできる児童を育てるためのとりくみをしてきたか - 交流活動や話し合い活動を充実させ、お互いを認め合う学級づくりをめざし、工夫してきたか - 子どもたちが楽しい学校生活をおくれるように、一人一人が自己有用感をもち、学び合える雰囲気学級の学級づくりを行ってきたか
		「かんがえよう」 ◎学び合い学習と学力向上	「学力向上」に向けて、日々の授業を見返し、改善してきたか - 学力の向上をめざし、子どもたちが「わかった」「楽しい」を実感する授業を実施してきたか - 子ども達が夢中になって学べるように、学習課題を工夫してきたか
		「みつめよう」 ◎心みがき清掃の充実	「自分自身と向き合い自分を成長させる時間」になるよう、ふりかえりの活動を大切に位置づけ、ノートを活用して取り組んできたか
	学習指導	主体的、対話的な学習 基礎的な学力の定着	- 学び合いの学習について研修を深め、「主体的、対話的で深い学び」の学習を展開できたか 「書く力」「読む力」の向上をめざし、授業改善に取り組んできたか 「丸北小スタンダード」で学習規律を統一し、「つむぐ」の活用で家庭との連携を図ってきたか - 朝のドリルや朝読書を通して、落ち着いた生活をスタートさせ、基礎力及び活用力の向上をめざしてきたか
	生徒指導	より良い人間関係づくり	- 子どもたちが、安心して生活してできるように、学級の人間関係に敏感になり、子どもの心に寄り添った支援をしてきたか - Q-U検査や相談の時間を利用して学級の人間関係の把握につとめ、児童の困り感に寄り添ってきたか - 日常の全ての活動や「なかよし月間」などの取り組みを通して人権感覚の育成に努め、特別に配慮を要する児童についての研修を深めてきたか 「北小っ子タイム」の充実を図り、自主・自律、学級づくり・人間関係づくりを大切に活動を支えてきたか
学校運営	地域との連携	学校からの情報発信	学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で学校の様子を伝えてきたか
		安全安心対策	学校は、毎日の下校指導や地域の安全見守り隊と連携して、事故防止や安全指導を進めてきたか
	研修	授業改善と児童理解	教師は、学習指導や生徒指導等で研修したことを日常の授業に生かしてきたか
	相談支援	子どもや保護者への教育相談	保護者や子どもからの相談に対して、関係職員や関連機関と連携しながら、適切な対応をしてきたか